

第4回天神川流域観察会を開催しました。

平成23年10月1日(土)に第4回天神川流域観察会を開催しました。

今回の観察会では小鴨川河川敷の清掃、防災ステーション工事現場や小泉2号砂防堰堤の見学、植物観察、関金資料館の見学を行いました。

天候が心配されましたが、雨も降ることなく、参加された方も楽しい流域観察会になったと思います。

台風12号の洪水で三明寺橋付近の河川敷に散らばったゴミの清掃を行いました。40分の清掃活動で約30袋の大きなゴミ袋がいっぱいになりました。ゴミのほとんどがペットボトルと発泡スチロールなどの生活ゴミでした。清掃を行った方々もゴミの多さに驚いておられました。



倉吉市関金町にある小泉2号砂防堰堤で砂防事業の説明を行いました。小泉2号砂防堰堤は台風12号で山から流出した土砂が約1万6千m³(推定)たまりました。

もしこの砂防堰堤がなければ下流にあった養魚場に流れ込んだかもしれません。

小泉2号砂防堰堤の上流で植物観察会を行いました。森本先生(倉吉市緑を育て守る審議会会長)から自生している野草などの植物について、説明がありました。また、台風で発生した土砂で橋の下が詰まってしまう、橋の上を水が流れている箇所もありました。



関金資料館では倉吉市の職員に館内の説明をしていただきました。

倉吉線の鉄道記念品もいろいろと展示しており、昔の路線を知っている方は懐かしがっていました。